

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和3年3月10日

公表: 令和3年3月11日

\*未記入欄あり

事業所名 多機能型事業所umineco

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3		スペースが狭い場合は活動場所を分けることで対応をしていきます
	2 職員の配置数は適切である	5	1		今後も法令に遵守した上で、利用者の状態や状況による適切な人員配置を行っていきます
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3		構造上難しい事柄に対しては、人手を増やすなどの工夫を行っていきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1		今後も継続していきます
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		担当者会議に全員が参加できるようにし、不参加の職員には記録にて情報を共有できるようにします
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		開所して1年が経過し今回が初めての評価になります。今後も継続していきます
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	・まだ前例がないため	開所1年が経過し今回が初めての評価になります。評価は保護者の方へ報告しホームページにも公開します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4		第三者による外部評価について知らない職員がいるため説明を行い、外部評価については今後検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	・定期的に事業所内で研修を行うべき	オンラインの外部研修も利用しながら事業所内での研修も行っています
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0		今後も継続していきます
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	6		標準化したアセスメントツールは現在作成中です。次回のモニタリングから使用していきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	2		「家族支援」「地域支援」に対しての支援内容の充実を図っていきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		今後も継続していきます
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	・活動の意図を全職員が同じレベルで理解する必要がある	チーム以外の職員も活動目標の共有ができるように伝えていきます
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0		今後も継続していきます
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0		今後も継続していきます
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	4	・何をするかはわかっているが何のためにするかまでを各自が明確にする必要がある	活動目標の共有を行っていきます。また研修を通して目的の認識を一致させていきます。
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	・日によってできていない	お昼のミーティングを通して共有していきます	

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	・記入漏れがないようにホワイトボードを使って確認している ・多忙のため日によってできていない	今後も継続していきます
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0		今後も継続していきます
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	・サービス担当者会議自体が行われていない。事業所として相談支援員へ促していくべき	相談支援事業所と連携を行っていきます
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	2	・コーディネーターがしてくれている	今後も病院や若草園、こども園などと連携を行っていきます
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	0	・コーディネーターがしてくれている	今後も継続していきます
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	0		今後も継続していきます
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0		今後も継続していきます
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0		今後も継続していきます
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		若草園や他事業所とも連携を図り、専門家の意見を取り入れる機会を作っていきます
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5	・コロナが落ち着いたら沼隈にはたくさんの保育園があるので交流したい	新型コロナウイルス感染症の影響により現在は交流の機会を設けてはいたませんが、今後感染症の状況を見ながら交流を計画していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6		福山市の児童発達支援協議会は今年度新型コロナウイルス感染症のため研修や会議がなかったため、来年度より入会予定です
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	・職員によって情報伝達の内容に差がある	職員による情報量の差がなくなるように申し送り事項を充実していきます
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	5		相談があった時は随時対応します。感染症の状況を見ながら参観日や懇談などの集団での支援も計画をしています
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1		契約時に説明をさせていただいています。職員にも利用までの流れを伝えていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		今後も継続していきます
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	・まずは悩みを言ってもらえるような信頼される職員になることが大切だと感じている	保護者の方が安心して利用できるように丁寧な対応や情報の共有を行っていきます
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	・今年はコロナがあり、集まり自体がなかった	新型コロナウイルス感染症のため今年度はありませんでしたが、感染症の状況を見ながら計画をしています
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		今後も継続していきます

一 等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0		今後も継続していきます
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		今後も継続していきます
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1		適切にアセスメントをすることで個々の能力に応じたカードやサインなどを用いています。保護者とは送迎やLINEをとおして情報を共有しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		新型コロナウイルス感染症のため今年度はありませんでしたが、感染症の状況を見ながら計画をしています
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0		今後も継続していきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		今後も継続していきます
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	・服薬は看護師しか把握していない。全職員が把握すべきだと思う	看護師を中心として職員全員で情報共有を行っていきます
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		今後も継続していきます
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	・忙しくなるとヒヤリハットが出てこない。インシデントは少ないのでヒヤリをもっと大切にするべき	定期的にヒヤリハットの評価をすることで認識を高め、またタブレット端末からヒヤリハットを入力できるようにし、ヒヤリハットが報告されやすいようにしていきます
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		今後も継続していきます
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2		身体拘束の研修の機会を設け、周知徹底を行っていきます

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。